

【総合基礎科目領域/人間基礎科目群】

科目名		ナンバリング	区分（必修・選択）	単位数	履修年次	開講学期等
現代組織論		NLA11_015	必修	1	1	後期
担当教員		研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
望月 宗一郎		301	s.mochizuki	水曜日 12:30～13:30		
授業の目的・概要	体験をととしてグループ中での役割を認識し、共同目的を達成するために必要な能力を養成するとともに、進んで目的を設定し確実に行動する態度や自発的・自律的に課題に取り組む姿勢を涵養することを目的とする。具体的には集団の理解とその中での人間関係の力学を学び、リーダーの責任、メンバーとしての役割、コミュニケーションのあり方等協働・協調を図りながら問題を解決するための基礎的な知識と方法論を学習する。					
授業形式・方法	☒対面授業 ☐遠隔授業(双方向型) ☐遠隔授業(自主学習) ☒講義 ☐実習 ☐演習 ☐実技 ☐PBL ☐グループワーク ☐その他（ ☐反転授業 ☐プレゼンテーション ☒ディスカッション・ディベート ☐実習・フィールドワーク					
学習上の助言	看護の現場は多職種が協働する組織である。現代組織論を学ぶ際は、役割の違いを理解しつつ、円滑なコミュニケーションとチーム連携の視点で学ぶと実践に生かしやすくなる。					
教科書	特になし					
参考書	特になし					
外部教材	特になし					
学生が達成すべき行動目標					関連卒業認定・学位授与方針	
①	人間に対する深い理解を持ち、人の尊厳を守る必要性が理解できる。				HSU (1)、NS (1)	
②	他者と協力して協働して問題解決を図る必要性を理解できる。				HSU (4)、NS (2)	
③	集団及び組織の特性を理解し、リーダーシップと協調性が何かを考慮することができる。				NS (4)	
④						
⑤						
授 業 計 画						
回	学習内容等		授業方法	学習課題・学習時間（時間）		
1	組織の基礎理解と社会人へのステップ ・現代組織論への導入：なぜ大学や社会で「組織」の視点が必要かを学ぶ。		講義	授業内容を振り返り、重要と思われるポイントを復習としてまとめる。		2
2	集団の特性とチームの中での自己理解 ・集団が形成され、機能するまでのプロセス（心理的プロセス）を学ぶ。		講義	授業内容を振り返り、重要と思われるポイントを復習としてまとめる。		4
3	組織コミュニケーションの基本 ・組織における対人関係のあり方や、意見を率直に言い合える「心理的安全性」の概念を学ぶ。		講義	授業内容を振り返り、重要と思われるポイントを復習としてまとめる。		4
4	多様性の理解と他者との協働 ・異なる価値観や背景を持つ人々が協力して目的を達成する意義を学ぶ。		講義	授業内容を振り返り、重要と思われるポイントを復習としてまとめる。		4
5	主体的なリーダーシップ ・役割によらないリーダーシップと責任について学ぶ。		講義	授業内容を振り返り、重要と思われるポイントを復習としてまとめる。		4
6	協働を支えるメンバーシップ ・自律的なフォロワーシップと役割の遂行について学ぶ。		講義	授業内容を振り返り、重要と思われるポイントを復習としてまとめる。		4
7	意見の対立と問題解決のプロセス ・コンフリクト（意見の相違）の解消と建設的な話し合いについて学ぶ。		講義・演習	授業内容を振り返り、重要と思われるポイントを復習としてまとめる。		4
8	総括とこれからの大学生活 ・組織の一員としての自己の課題と今後のアクションプランを考える。		講義・演習	授業内容を振り返り、重要と思われるポイントを復習としてまとめる。		4
試	定期試験（達成度評価・評価のポイント参照）					

【総合基礎科目領域/人間基礎科目群】

達成度評価								
総合評価割合（％）			試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
			0	0	50	50	0	100
総合力指標	知識・技術力		0	0	10	0	0	10
	思考・推論・創造する力		0	0	10	0	0	10
	協調性・リーダーシップ		0	0	10	0	0	10
	発表・表現伝達する力		0	0	10	0	0	10
	コミュニケーション力		0	0	10	10	0	20
	取組みの姿勢・意欲		0	0	0	20	0	20
	問題を発見・解決する力		0	0	0	20	0	20
評価のポイント							フィードバックの方法	
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点						
試験	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
レポート	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
成果発表	①	✓	最終回（第8コマ）で実施する「行動計画（アクションプラン）発表」を評価対象とする。内容の質だけでなく、論理性・伝達力・主体性を総合的に評価する。					教員より総評を行う。
	②	✓						
	③	✓						
	④							
	⑤							
	⑥							
ポートフォリオ	①	✓	各回の学習内容を踏まえた振り返り（リフレクション）、ミニワークの記録、自己分析結果などをまとめた学習ポートフォリオを提出する。 また、ディスカッション・ミニワークへの積極的参加、協働姿勢などを評価する。					教員より総評を行う。
	②	✓						
	③	✓						
	④							
	⑤							
	⑥							
その他	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
備 考								
他 担 当 教 員		なし。						
教 員 の 実 務 経 験		行政保健師としての勤務経験を有する。						
実践的授業の内容		担当教員の自治体での勤務経験を活かし、現場における具体的な事例を交えながら講義を進める。						
そ の 他		講義には特別な理由がない限り毎回出席し、積極的な態度で授業に臨むことを重んじる。 学生の理解度に応じ、講義の速度や順番を調整する可能性がある。 大学が公表している感染対策および教員が示す授業方法を遵守すること。 受講態度に問題がある場合、注意しても守れない場合は退室していただくこととなる。						